

美術学科准教授 高橋 綾子

1. 研究活動

【展覧会（プロジェクト）企画】			
A&Dセンター夏の企画展： 桑山忠明 担当	2013. 8. 10 ～ 9. 18	名古屋芸術大学 A&D センター	特別客員教授の桑山忠明氏の個展開催に関わる企画運営。事前打ち合わせ、展示、広報、公開講座等。
愛岐トンネルアートプロジェクト2013 「荒野ノヒカリ」 企画プロデューサー	2013. 9. 7 ～ 10. 27	愛岐トンネル群	あいちトリエンナーレのパートナーシップ事業。企画全般のキュレーションと運営プロデューサーをつとめた。
【出版／企画・編集】			
「荒野ノヒカリ」記録冊子	2014. 3. 31	愛岐トンネル群再生保存委員会	「荒野ノヒカリ」記録冊子の企画編集、執筆。テキスト「トンネルの内と外 荒野にヒカリは見えたのか」執筆。
「地熱の荒野しんぶん」 愛岐トンネル特集号	2013. 9. 7	トトち舎／愛岐トンネル群再生保存委員会	「荒野ノヒカリ」のプレ企画の新聞発行。エッセイストの酒井順子さん、評論家の馬場駿吉さんの対談記事等で構成。
【講義・シンポジウム】			
オープンカレッジ in 飛驒 「地域資源とアートプロジェクト」	2013. 8. 31	飛驒センター	「地域と芸術：まちづくりとアート＆デザイン」の連続講座のコーディネイトと講義のプロローグ。
オープンカレッジ in 飛驒 「愛岐トンネルアートプロジェクト」現地レクチャー	2013. 10. 5	愛岐トンネル群	「地域と芸術：まちづくりとアート＆デザイン」の現地視察の案内。
オープンカレッジ in 飛驒 「まちづくりとアート＆デザイン」	2013. 11. 2	飛驒センター	「地域と芸術：まちづくりとアート＆デザイン」のまとめのレクチャー。
あいちトリエンナーレ2013 クロス・キーワード 『ICA, Nagoya と名古屋の現代アート』進行	2013. 10. 13	愛知芸術文化センター	名古屋のオルタナティブスペースの草分け ICA, Nagoya について、南條史生さんとトーク、進行役を務めた。
【テレビ・ラジオ出演】			
「幸せの黄色い子犬」 あいちトリエンナーレ2013 の紹介	2013. 8. 18	中京テレビ	タレント篠山輝信さんらを案内して、あいちトリエンナーレ2013の作品を解説。

CBC ラジオの生放送 「レポートドライバー」で 「荒野ノヒカリ」紹介	2013. 9. 6	CBC ラジオ	レポーターの吉村史織さんを案内し、開幕直 前の告知。
「ほっとイブニング」 愛岐トンネルでの「荒野ノ ヒカリ」紹介	2013. 9. 20	NHK 名古屋	黒崎めぐみアナウンサーに「荒野ノヒカリ」 を案内、紹介。
【新聞執筆】			
本城直季展	2013. 6. 4	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	四日市市立博物館での本城直季「しんきろう」 展。気鋭の写真作家の模型化された世界観を 解説。
宮脇綾子展	2013. 7. 9	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	一宮市三岸節子美術館での宮脇綾子の個展。 アップリケ創作と自然観の本質に言及。
植橋朝子展	2013. 10. 1	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	C スクエアでの写真家・植橋朝子の個展。映 像作品の意味にも言及。
尹 熙倉展	2013. 11. 20	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	ギャラリーキャプションでの尹熙倉の個展。 独自の陶粉画の魅力と、新たな展開を「気配」 を軸に言及。
O JUN & Hideo TOGAWA 展	2014. 1. 29	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	ガレリアフィナルテでの O JUN & Hideo TOGAWA 二人展。無垢ながら難解な味わい を解説。
グループ「幻触」と石子順 三展	2014. 3. 19	朝日新聞 朝刊文化欄 「創」	静岡県立美術館での企画展の評論。グループ 「幻触」の検証を評論家石子順三の存在を軸 に検証の意義を解説。
【学内冊子「B!e」編集と執筆】			
特集：桑山忠明の「空間」	2013. 7. 4	名古屋芸術大学アート & デザインセンター 「B!e」37号	特集のメイン記事の執筆と、企画編集。
特集：なつやすみの思い出	2013. 11. 22	名古屋芸術大学アート & デザインセンター 「B!e」38号	特集への資料提供と、企画編集。
特集：耕す	2014. 2. 24	名古屋芸術大学アート & デザインセンター 「B!e」39号	企画編集。
【連載コラム原稿執筆】			
名古屋シネマテーク通信 next arts 通信	2013. 4 ～2014. 3	名古屋シネマテーク通信	1998年より毎月連載。中部地域に限らず、内 外の現代アートや文化トピックスを巡るミニ コラム。
【編集 & 執筆】			
特集「名古屋の画廊史」 国鳥征二 & 栗本百合子対談 採録構成 など	2013. 8. 30	「REAR (リア)」no. 30	<特集>記事構成と編集。対談記事をはじめ、 各寄稿記事の構成、さらに全体の執筆依頼か ら校正まで編集全般を行う。
「制作と発表の実験 ギャ ラリーUとASGの時代」	2013. 8. 30	「REAR (リア)」no. 30	特集のなかでの各論として、名古屋の実験的 なギャラリーの検証。
「カタログから読む NCAF の16年」	2013. 8. 30	「REAR (リア)」no. 30	特集のなかでの各論として、名古屋のアート フェアの記録作成、検証。

特集「震災とミュージアム」	2014. 2. 28	「REAR (リア)」no. 31	<特集>記事構成と編集。対談記事をはじめ、各寄稿記事の構成、さらに全体の執筆依頼から校正まで編集全般を行う。
レポート「わすれん！」 市民と寄り添うメディアエーターの役割	2014. 2. 28	「REAR (リア)」no. 31	特集の一環で、せんだいメディアテークでの取り組みを取材、インタビュー記事を執筆、構成。
インタビュー：山口啓介 「カナリアの沈黙と役割」	2014. 2. 28	「REAR (リア)」no. 31	特集の一環で、作家・山口啓介さんを取材、インタビュー記事を執筆、構成。
<批評> 「苦」から「空」への往還 随想：御空羅供の晩餐 — 額額敏郎とノロ燐の競演	2014. 2. 28	「REAR (リア)」no. 31	額額敏郎とノロ燐の二人展の意義と、それぞれの作品批評を執筆。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目 プロジェクト研究		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
アートマネジメントの実践を視野に、前期は基礎知識を、後期は実践を意図した。展示と公演の違いを理解するために、ともに実践の機会を得た。	ギャラリーでの展示や、コンサート運営の裏方の経験など、現場実践も取り入れながら、必要な器材の使用も導入。	

3. 学会等および社会における主な活動

芸術批評誌「REAR」編集メンバー	2002. 10～現在	
名古屋市土木部堀川整備調整委員	2005. 4～現在	
かすがい文化振興財団評議委員	2008. 4～現在	
豊田市美術館運営協議会委員	2008. 4～現在	
ファン・デ・ナゴヤ美術展企画委員	2009. 4～現在	
岐阜市屋外広告物審議会委員	2011. 4～現在	
岐阜県現代陶芸美術館広告物プロポーザル選考委員	2013. 6～現在	